

# 会 議 録

会議名	令和7年度 第3回 豊田市入札監視委員会		
日 時	令和8年2月13日（金） 午後1時55分～午後3時12分		
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 51会議室		
出席者	委員長 曾我部 博之	総務部	検査監 中根 和男
	委員 河野 伊知郎	契約課	課 長 福岡 員祥
	小島 啓介		副課長 河橋 敦子
			担当長 鶴田 智之
			担当長 小船 貴恵
		上下水道局総務課	課 長 広瀬 誠
			副課長 郡嶋 弘武
			担当長 山田 のぞみ
		主 査 真野 順子	

## 1 総務部検査監あいさつ

## 2 報告事項

### (1) 令和7年度第3四半期の契約状況

#### ◇市長部局

質 問	回 答
建築一式の不調・不成立の発生率について、昨年度の第3四半期は100%だったが、今年度第3四半期は0%となっている。その要因は何か。	不調・不成立が続く案件について指名競争入札による発注を導入したほか、昨年度は「居ながら工事」の不調・不成立が多かったが、今年度第3四半期は、屋根、外壁等の外回りだけの比較的履行しやすい工事もあったため、参加・落札につながったと考えている。

#### ◇上下水道局

質 問	回 答
工事関係委託の発注時期の傾向について、昨年度と比べて第3四半期の発注が減っているようだが、そのように調整したのか。	意図的に調整したわけではなく、今年度は上半期に発注の大半が済んだため、第3四半期の件数が減少する結果となった。
建設工事について第3四半期は時期的に不調・不成立が発生しやすいということだが、上半期に案件を集めて第3四半期は発注を減らす等の対策がとられているのか。	発注件数については年間を通じて平準化するように指導しているが、発注課のスケジュールもあるため、第3四半期には発注しない等の制限まではしていない。
「技術者不足により不調・不成立」とよく聞かすが、このときの「技術者」とは誰を指すのか。免許を持った技術者か、現場の作業員か、それともすべてを含むのか。	配置しなければいけない主任技術者等の有資格者を指す。 現場の作業員については、今のところ不調・不成立に直接影響していないと思っている。

## (2) 入札参加停止等の状況

### 入札参加停止の決定について

質 問	回 答
契約締結辞退を理由として入札参加停止となった案件について、自社での履行が不可能と判断して辞退しているが、入札前に判断ができない事情があったのか。	入札公告時の公表資料の中で封筒作成業務は再委託禁止と記載していたが、事業者がその部分を見落として入札参加したものである。

## 3 審議事項

### (1) 令和7年12月議会案件

意見等なし

### (2) 委員選定案件等

#### ◇市長部局

質 問	回 答
工事関係委託の案件で22名が入札参加した案件について、参加者の大半が最低制限価格で入札している。その理由は何か。	土木系の工事関係委託については、標準単価が公表されており、また、開札後には金入り設計書も公表しているため、それらの情報を踏まえて入札した結果、大半が最低制限価格で入札したものと考えられる。
「余裕期間制度」は、全ての工事に適用しているのか。	発注課にて余裕期間制度に適する案件かを判断し、個別に設定している。
買入案件について、落札金額より低額で入札した事業者が実績要件を満たしておらず無効となった旨の記載がありますが、どういった事情か。	当該案件は事務用家具の実績が入札参加に必要な案件であり、事業者から実績の提示もあったが、事務用家具の実績ではなかったため、無効となったものである。
その他業務委託案件について、3者から参考見積を徴取し2番目に高い参考見積額を基に積算した案件があるが、こういったルールがあるのか。	3者以上から参考見積を徴取するというルールはあるが、徴取した参考見積額について何番目の見積額を基に積算するというルールはなく、担当課において、参考見積額を踏まえ適切な価格を設定している。

#### ◇上下水道局

意見等なし。

## 4 その他

- ・ 令和7年度意見具申に向けた意見の集約について  
令和8年2月20日（金）が各委員からの素案提出期限
- ・ 第4回委員会の開催予定について  
令和8年3月16日（月）午後4時～ 南51会議室（南庁舎5階）